

卒業式の「学校長式辞」(前編)です。

平成30年3月1日(木)、「茨城県立並木中等教育学校 第5回卒業式」を挙げてまいりました。今号と次号(第319号)で「学校長式辞」の全文を掲載します。2180字・約10分間の式辞です。ポスト印象派を代表する画家「フィンセント・ファン・ゴッホ」が登場する式辞です(^_^)。

◆卒業式での「学校長式辞」—前編—◆ 「テオなくしてゴッホなし」 式辞

- 梅香る今日のよき日に、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、ここに、茨城県立並木中等教育学校第5回卒業式を挙げてまいりますことは、私どもとしまして大きな喜びであり、本校教職員を代表しまして深く感謝申し上げます。
- 保護者の皆様、お子様のご卒業、まことにおめでとうでございます。6年前を思い出され、お子様の成長に感激もひとしおのことと思います。中等教育学校の6年間は、自立へ向かい、自己の価値観や生き方の基礎を築く大切な時期であります。ご心配やご心労もあったと存じますが、お子様は、自らの人生を切り拓いていくのに十分な力を蓄え、今日の日を迎えております。皆様のこれまでのご協力に感謝しますとともに、本日のお子様のご卒業を心からお祝い申し上げます。
- ただ今、卒業証書を授与しました155名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうでございます。皆さんは、「Be a top learner!」の校是のもとで、本当によく学びました。私は、これまでの皆さんの努力に対し、敬意を表するとともに、本日、この並木中等教育学校を巣立つ皆さんが、夢に向かって大きく飛躍することを期待しています。
- 本日は、皆さんのこれからの活躍を期待して、一人の画家の話をしたしたいと思います。その画家は、「フィンセント・ファン・ゴッホ」。ポスト印象派を代表する画家で、皆さんもよく知っていると思います。ゴッホは、1853年にオランダで生まれ、パリで浮世絵に出会い、日本にあこがれをいただいた画家でした。代表作の1つ「ひまわり」を新宿にある美術館で観た人もいるでしょう。
- 私は、小学生の頃、絵を描くのが大好きな少年でした。中学・高校時代には独学で油絵を描いていました。当時から、ゴッホ作品が好きで、高校2年生の時に模写した「収穫」という絵を現在校長室に展示しています。
- 近年、美術展覧会マニアとなった私は、各地でゴッホ作品を観るようになり、改めてその絵の素晴らしさを感じています。その筆のタッチは、独特であり、展覧会では美術館スコープを使って詳細に鑑賞しています。ゴッホは、ミレー、レンブラントそして日本の浮世絵など、さまざまな画家や絵画を賞賛し模写もしましたが、誰かの様式や線やタッチをそのまま模倣しようとはしませんでした。わき上がる感情をオリジナルの色彩とタッチで表現したのです。(次号に続く)

